

B-15

| | | | |
|---|---|------------|--|
| 出展団体名 | 農業・食品産業技術総合研究機構 | | |
| 発表者所属 | 野菜茶業研究所 野菜IPM研究チーム 研究員 | | |
| 発表者氏名 | 篠原 信 | | |
| 発表タイトル | 有機物を活用した野菜類の養液栽培：新たな病害発生抑止技術 | | |
| ねらい | <input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し | | |
| | <input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し | | |
| | <input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し | | |
| | <input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンサー）探し | | |
| | <input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に | | |
| キーワード | ①有機肥料 | ②養液栽培 | |
| | ③根部病害の抑制 | ④有機由来の無機肥料 | |
| 要 旨（アピールポイント） | | | |
| <p>本技術は養液栽培では従来難しかった、「有機物を肥料とする」、「根部病害に強い栽培を可能」にします。肥料を有機物に換えるだけなので導入が容易で低コストな方法です。</p> <p>従来の養液栽培（水耕栽培）では病原菌の侵入に弱いという欠点がありました。無機肥料（化学肥料）だけでは養液内が無機的・無菌的になるためですが、有機肥料を入れると水が腐ってしまい、栽培ができませんでした。本技術は日本酒の醸造法（並行複式発酵法）を利用することにより、1. 養液内の微生物で有機物を無機化する、2. 豊かな微生物相が病原菌の侵入を食い止める、ことを可能にしました。肥料には鰹煮汁、菜種油粕、メタン消化液など、幅広い有機物を利用できます。従来の養液栽培装置をそのまま利用でき、非常に低コストです。</p> | | | |